

私は生まれ育った京都が大好きです。
 京都のすばらしい地域力、文化力、人間力を生かして、
 「京都に住んでいてよかった」
 「京都で子育てしてよかった」
 と実感いただける未来の京都づくりに、
 市民の皆様と共に邁進する決意です。

かどかわ大作さんのプロフィール

昭和25年11月／京都市生まれ
 44年3月／堀川高校卒業
 44年4月／京都市教育委員会採用
 49年3月／立命館大学二部法学部卒業
 平成13年4月／京都市教育委員会・教育長
 20年2月／第26代京都市長

4年間の主な実績

いのち

- ◆介護基盤の大幅拡充：特別養護老人ホームの目標を上回る5055人分定員確保
- ◆保育所の新設・分園など定員拡大：4年間で入所児童2000人増加
- ◆市立病院の建て替え、急病診療所小児科の夜間診療時間拡大
- ◆統合や改築計画のある学校を除くすべての学校で耐震補強工事完了
- ◆東日本大震災を受けた被災地支援、防災対策総点検

環境

- ◆ごみ減量でピーク時の6割(49.7万トン)まで大幅削減
- ◆再生可能エネルギー政策推進：太陽光発電設置助成、使用済天ぷら油を再利用するバイオディーゼル燃料事業、木質ペレット普及
- ◆町並み景観の保全：京町家の保全・再生、歴史的建造物の修理、無電柱化、石畳舗装
- ◆自然景観の保全：三山のナラ枯れ対策、街路樹の二段階剪定
- ◆「歩くまち・京都」憲章制定、パークアンドライドの推進、市バス・地下鉄の増便・等間隔運行

知恵

- ◆中小企業新規融資枠の大幅拡充(19年度800億円→23年度2500億円)、中小企業の資金繰り支援
- ◆新「産業技術研究所」開設、知恵産業融合センター発足、産学共同研究拠点「知恵の輪」開所
- ◆年間入浴観光客数5000万人を計画の2年前倒しで達成
- ◆観光庁との国際観光推進の共同プロジェクト、オール京都で「京の七夕」事業実施
- ◆府市協調で「第26回国民文化祭 京都2011」開催・成功

ひと

- ◆「未来まちづくり100人委員会」など参加・協働のまちづくり推進
- ◆京都の財産「地域力」を生かす地域コミュニティ活性化条例制定
- ◆全行政区で区民円卓会議設置、新しい区基本計画を策定
- ◆すべての小・中学校で土曜学習を実施
- ◆学生の主体的な活動を支援する「輝く学生応援プロジェクト」実施

刷新

- ◆過去最大の累積赤字30億円を2年で解消・黒字化。マニフェスト目標を上回る1444人の職員削減(給与カット分を含め財政効果144億円超)、市債発行額2割以上(26%削減、市債残高ピーク時(14年度)から約1800億円減少(23年度末見込))
- ◆地下鉄経営健全化の推進：コスト削減、利用者増、駅ナカビジネス拡大等の経営改革で現金収支が21年度に開業初の黒字16億円、22年度43億円に黒字拡大。1日の赤字額が4年間で半減(18年度4600万円→22年度2300万円)

- ◆市民参加で議論を重ね、京都の未来像と重点戦略を示す京都市基本計画を策定

- ◆徹底した市民感覚で不祥事抑止の組織風土づくりを推進

- ◆府市協調で、地球温暖化対策条例の共同条例化、京都駅総合観光案内所の共同設置、特別支援学校への児童生徒相互受入などを実現

未来の京都

まちづくり

マニフェスト

かどかわ大作戦2012



かどかわ大作さんの政策と見解を紹介します
未来の京都をつくる会
 平成24年1月10日発行 機関紙Vol.451
 〒600-8412 京都市下京区烏丸通仏光寺上る二帖半敷町647
 TEL.075-352-9500 FAX.075-352-9505

1 市民のいのちと暮らしを守り、力強い経済の再生と雇用創出

府市協調で中小企業新規融資枠2500億円を確保、
商工会議所の経営相談センターへの体制支援を強化し、
ワンストップで、不況に苦しむ**中小企業の
経営支援体制を確立、**
知恵産業、観光振興等で雇用を創出します。

新たに1700人分の介護サービス施設の
整備など**福祉のまちづくり**を進めます。
特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、
認知症高齢者グループホーム、
市立病院「心臓・脳・血管病センター」など

保育所待機児童ゼロ、教育の充実で
子育て環境日本一の京都をつくります。
保育所定員拡大、病児保育拡大、延長・休日保育拡充、
学校運営協議会の全小学校設置



4

緊急輸送道路上の50以上の橋の耐震補強と
老朽化修繕を5年以内に完了、
市民の木造住宅の耐震リフォームを
支援する新たな制度をつくり、
地震・災害に強い都市づくりを実現します。

2 京都の魅力に更なる磨きをかけ、都市格を高め、「世界の文化首都・京都」へ飛躍

5

市民ぐるみのごみ減量による「ごみ半減プラン」の
前倒し達成と太陽光など自然エネルギーの
普及拡大で**原発に依存しない安心で
環境にやさしいまち**をつくります。

6

京都会館や京都市美術館の再整備と多彩な催しを
集中展開する新たな文化芸術の祭典を実施し、
京都のまちを文化芸術で彩り、
世界の文化首都をめざします。



7

平成19年度から実施している
新景観政策を進化させ、
**美しい自然や歴史的な町並み景観を保全し、
まちを活性化**します。

8

四条通の歩道拡幅、公共交通優先化や
京都駅南口駅前広場整備などにより、
**歩いて楽しいまちや
南部創造のまちづくり**を推進します。

3 区役所改革などによる地域主権時代をリードする自治の構築と財政構造の抜本改革

9

区民提案予算・協働で進める
まちづくり支援制度、
区民まちづくり会議の創設で
**地域主体のまちづくり、
区役所改革**を行います。

10

二重行政・縦割り行政を打破し、
徹底した行政改革・行政の効率化で
250億円の財源確保、
職員人件費100億円以上削減、
市の借金を減らし将来にわたって
安定的な財政基盤を確立します。

